



令和元年度友好都市交流事業報告

自然と歴史あふれる南種子町



種子島は鉄砲伝来の地としても有名です。種子島には刀鍛冶の八板金兵衛の鉄砲の製作に係る悲しいお話も残されています。

南種子町役場の方に、火縄銃のレプリカを見せていただきました。

潮の満ち引きによって自然にできた洞窟「千座(ちくら)の岩屋」。洞窟の中は1000人が入ることができるほど大きいと言われています。



JAXAの種子島宇宙センターがある南種子町では、ロケット発射場のほか実物のロケットのエンジン等を見学することができます。

南種子町の児童との交流



南種子町の児童9名が迎えてくれました。短い時間ではありましたが一緒に行動し、南種子町について教えてくれました。交流団からは、6年生が授業で作成した飛島村を紹介するパンフレットを手渡しました。

平成28年6月に鹿児島県南種子町と友好自治体提携を結び、同年度より飛島学園6年生10名を同町に派遣しています。

12月23日(月)～ 25日(水)の3日間、現地の児童たちとの交流や様々な場所での研修など、貴重な体験を通して交流団一人ひとりが研修テーマにそって、学びを深めることができました。

現地でしか学べないことを学んできました



食べて学ぶ



体験して学ぶ



交流して学ぶ

交流団の目的の1つは、飛島村と南種子町の架け橋になること。様々な交流活動を通じて、絆を深めることができました。これをきっかけに、2つの自治体の交流がより一層活発なものになることを願っています。

聞いて学ぶ



見て学ぶ



私たちが飛島村と南種子町の架け橋になります



飛島村と違って、海や森がきれいでした。なぜ海や森がきれいなのかは、工場がないからなんだと思いました。ぼくは、初めて何かを自分からやりたいと言って、貴重な体験になったので、これからも積極的にやってみたいと思いました。(犬飼 彩太)

南種子町に行って、地域の人の話を聞いて、南種子町の良さやロケット・産業・歴史などたくさんを学びました。応募面接ではとても緊張しましたが、しっかりと自分の考えを面接官に伝えることができました。南種子町に行っているいろいろなことを経験して、自分に自信がつきました。(立石 希唯)